

会議・協議等記録簿

議 題	第 4 回佐久市生物多様性専門家会議		
日 時	令和5年11月30日（木） 10：00～正午	場 所	オンライン会議
出席者	委 員：出席6名、欠席1名 事 務 局：環境政策課長、耕地林務課長、環境保全係長、環境保全係、 コーディネーター		
会 議 ・ 協 議 等 事 項			
1 開会 2 会議事項 (1) 調査地の現状報告について ア 調査地の現状について <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員から望月高原牧場の環境がシカを誘引し、増加の一因になっていると推定された ・ 柵内の種数が上昇していること、ササの食圧がかかっていないことから、植生回復柵は効果があったと推定された イ 特定外来生物の侵入と絶滅危惧種の保護について <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員から特定外来生物についての説明があった ・ 委員からオオハンゴンソウの駆除方法の説明があった ・ 絶滅危惧種のツキヌキソウについては、委員から山梨県のホザキツキヌキソウの保全方法を参考にしよう提案があった (2) 調査実験業務の今後の進め方について ア 下層植生の回復柵について <ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネーターから植生回復柵について、以下のために設置することを提案し、委員から承認を得た <ul style="list-style-type: none"> ・ 種数を増やす ・ 植被度を増やす ・ 土壌の流出を止める ・ 具体的な植生回復柵の設置場所については、調査地4・7の雨により水の流れることができる箇所（リル）が出来ている箇所等に設置しよう提案があった イ センサーカメラの設置について <ul style="list-style-type: none"> ・ センサーカメラの設置目的を明確化することについて提案があった ・ 牧場に出現しているシカの頭数から、林内のシカの現状把握の正確さにおいてカメラ設置数の少なさの指摘があった ・ 林内のシカの行動把握に向けた、カメラデータの確認について提案があった ・ 植物の成長確認のために、タイムラプスカメラを使用しよう提案があった (3) 森林内の災害リスクについて			

会議・協議等記録簿

ア 防災科学技術研究所の実験の進捗状況について

- ・今年度は雨量が少なかったため水の流れの確認ができなかったという報告があった

イ 佐久地域振興局林務課からの報告

- ・佐久市大河原峠大崩壊地においてシカの影響の可能性について報告があった
- ・長野県全域でシカの生息数が多い地域において、山腹崩壊とシカの因果関係の解明についての調査が予定されているという報告があった

(4) 森林下層植生の衰退原因であるニホンジカ対策について

ア 佐久地域振興局、佐久市環境政策課からの報告

(5) 啓発活動について

ア アンケート結果について

イ 今後の啓発活動について

- ・委員から、今後は現場の様子を伝えるよう提案があった

(6) その他

3 閉会